

【フレンズ通信】

札幌医科大学附属病院
看護キャリア支援センター発行
No.5



こんにちは。看護キャリア支援センター看護師の岡本です(右から2番目)。

5月に病棟から異動し、あっという間に4ヶ月が経過しました。

研修やフレンズルームを通して新人看護職員の皆さんとお会いしていますが、会う度に新たな知識や技術を身につけて少しずつ看護職としての自信をつけていると感じています！そして、そのような成長を支えることのできる看護キャリア支援センターの仕事に喜びとやり甲斐を感じる毎日です。

蒸し暑い日々がひと段落し、涼しさを感じるようになってきました。蓄積された夏の疲れが出てくる時期かと思しますので、体調に気をつけながらがんばりましょう！

フレンズインタビュー ～今月のラッキーライラック～

今年度初のインタビューは、歯科口腔外科看護室の平成27年度新規採用職員さわやかな「澤口 宙人さん」(左)と初めて実地指導者を経験している4年目優しい雰囲気「橋本 直弥さん」(右)の男性ペアです。



(仕事を頑張ることができている要因は?) 澤口さん: 大変なことがあっても、先輩に相談して解決できていると思います。同期とも職場の同僚とも、遊んだりとか楽しいことがあります。

(初めて実地指導者になって自分が変わったことは?) 橋本さん: 今までやっていたことが本当に良いのか、理由は何かを考えたり確認しながら行っています。前の自分なら気づいたことをすぐに言ってしまったけれど、澤口君はきちんと考えてやろうとしているから、待つことを考えられるようになりました。

(男性ペアで良かった点は何ですか?) 澤口さん: 相談しやすいです。 橋本さん: 女性だと気を遣うところも、男性同士だから気を遣わずに言えることもあります。男性同士だと看護の視点で気づけないこともあるかもしれないという心配はあったけれど、病棟のいろいろな人が関わってフォローしてもらえていると思います。

(これから入職する男性看護師に向けて一言!) 澤口さん: 今年的一年目は男性看護師が多くて、他の学校の人も飲みに行ったり楽しく過ごせています。すぐに友達もできました。 橋本さん: ほとんどの科に男性看護師が二人以上いるようになりました。すごく働きやすい環境になっています。

お二人の前向きで真摯な姿勢と明るく雰囲気の良い病棟であることが伝わってきました。最後は、同期、先輩たちとピース!



～新人研修の様子～



吸引研修
先輩のデモを
よく見てね!



フィジカルアセスメント
この肺音は何だろう?



BLS/AED研修
心臓マッサージと
AED準備!



フォローアップ研修
体育館で大縄跳び～!

札幌医科大学附属病院 看護キャリア支援センター
TEL 011-611-2111 内線:2319
Mail career@sapmed.ac.jp
URL <http://web.sapmed.ac.jp/career/>



◆ フレンズルームはいつでも受け付けていますので、ご利用ください。